

事業番号 2023 - 府 - 22 - 0110

令和5年度行政事業レビューシート			( 内閣府 )				
事業名	公共交通利便性向上検討事業		担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(振興第一担当) 野本 英伸		
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2021 日本の未来を拓く4つの原動力～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～(令和3年6月18日閣議決定)			
政策	9. 沖縄政策		主要経費	その他の事項経費			
施策	9. 沖縄政策沖縄振興に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	沖縄本島中南部都市圏では過度な自家用車依存による深刻な交通渋滞が発生し、住民生活のみならず観光や産業などの面で沖縄振興の大きな支障となっている。深刻な渋滞解消のために、改築事業などのハード整備と併せて公共交通活性化等のソフト施策も必要とされていることから、公共交通の利便性向上等による自家用車から公共交通等への転換を図り、渋滞を緩和し、持続可能な公共交通や観光・まちづくりに資する方策の検討を行う。						
現状・課題(5行程度以内)	沖縄本島の中南部圏域は、沖縄本島人口の約8割が集中するにも関わらず、公共交通機関が脆弱であるため、自動車依存度が高く、交通渋滞が住民生活のみならず観光や産業などの沖縄振興の大きな支障となっている。 また、沖縄本島の北部圏域は、中南部圏域と比較して更に公共交通機関が脆弱であり、過疎化や高齢化が進む中で産業振興や定住条件の整備が求められている。これらの地域では、道路整備などのハード整備を進めているものの、整備効果の発現には時間を要するため、あわせて公共交通活性化等のソフト施策も必要とされているところ。						
事業概要(5行程度以内)	自動車交通の流れや公共交通の利用者特性などの交通特性及びまちづくりの方向性等について、データ収集及び分析を実施する。また、公共交通利用促進の阻害要因や課題の整理を行い、沖縄における公共交通等への転換を図るための方策の在り方について検討を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	15	20	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	15	20	-
		執行額(G)			11		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	73%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	73%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	沖縄政策費			-		
	(目)	交通環境等改善調査委託費	20				
		その他		-			
	計(A)		20	-			

<b>活動内容① (アクティビティ)</b>		沖縄における過度な自家用車依存から脱却し、公共交通等への転換を図るための調査及び検討を実施する。									
↓											
<b>活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)</b>		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		今後取り組むべき方策を検討するための調査を行う。	調査の実施	活動実績	件	-	-	1	1	-	
				当初見込み	件	-	-	1	1	-	
↓											
<b>成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</b>		<p>①沖縄本島中南部都市圏では過度な自家用車依存による深刻な交通渋滞が発生し、住民生活のみならず観光や産業などの面で沖縄振興の大きな支障となっている。</p> <p>②深刻な渋滞解消のために、改築事業などのハード整備と併せて公共交通活性化等のソフト施策も必要とされていることから、公共交通の利便性向上等による自家用車から公共交通等への転換を図り、渋滞を緩和し、持続可能な公共交通や観光・まちづくりに資する方策の検討を行う必要がある。</p>									
<b>成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)</b>		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度		
		公共交通の利便性向上による渋滞緩和に向けて、今後取り組むべき方策の方向性を取りまとめる。	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</b>		令和4年度において、沖縄の交通の現状について基礎データ収集・分析を行った。									
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		今後の方策検討するための調査業務であるため。									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		今後の方策検討するための調査業務であるため。									
<b>事業に関連する KPIが定められて いる関連決定 等</b>		名称	-								
		URL	-								
		該当箇所	-								
<b>事業所管部局による点検・改善</b>											
<b>点検結果</b>		<p>沖縄振興基本方針において、沖縄本島中南部で慢性的な交通渋滞が発生しており、交通渋滞解消にむけ、社会資本整備による生産性向上の効果を一層高めていくためのハード・ソフト一体となった取組み強化を図っており、本事業は、公共交通等への転換を図るための調査を実施している。</p> <p>令和4年度は、沖縄の交通の現状(自動車交通への依存状況、観光客の移動実態把握、通学送迎による交通への影響等)の実態把握を行い、今後、関係者を含めた検討会を実施するための有効なデータを得た。</p>					<b>目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)</b>				
<b>改善の 方向性</b>		アクティビティ①について、目標年度に向け引き続き取り組む。									

外部有識者の所見													
基礎的な調査であり、定量的なアウトカムの設定が困難であることは理解するが、「どのような調査をし、今後それをどう生かしていくのか」といったより具体的内容の記載について検討していただきたい。													
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見													
終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、定性的なアウトカムの内容を具体化させるなど、本レビューシートにおける説明内容の更なるブラッシュアップを検討すること。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
予定通り終了	<small>くらしや働く環境・観光周辺における自家用車依存が依然高く、渋滞が慢性化し生活や経済に影響している実態を把握した。 これを踏まえ、今後、沖縄の持続可能な交通環境構築に取り組むため、地域の住まう方や訪れる方、地域の企業や観光・教育・まちづくり関係者など交通を活用する側とともに、それらのあり方を含めたトータルでの交通サービスデザインの基礎の確立に取り組む。</small>												
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ													
過去に受けた指摘事項と対応状況													
	上記への対応状況												
	その他の指摘事項												
上記への対応状況													
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
平成23年度													
平成24年度													
平成25年度													
平成26年度													
平成27年度													
平成28年度													
平成29年度													
平成30年度													
令和元年度													
令和2年度													
令和3年度													
令和4年度	2022	府	新22	0008									

内閣府  
15百万円

〔 事業の企画立案 〕



【 一般競争入札(総合評価) 】

A.社会システム株式会社  
11百万円

〔 公共交通利便性向上検討  
事業の実施 〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	公共交通利便性向上検討事業の実施	4				
その他	間接経費、一般管理費	7				
計		11	計			

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

**支出先上位10者リスト**

A.

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者入札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 社会システム株式会社	1013201015327	資料収集・現状分析	11	一般競争契約 (総合評価)	4	58.8%	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載  チェック